

2007.10.10 (vol.2)

高校教育課 情報メール

発行者：宮城県教育庁高校教育課
<http://www.pref.miyagi.jp/koukyou/>

県立高等学校の特色ある学校づくりの取組や全日制課程普通科通学区域の全県一学区等についての情報をお届けします。

【高校の特色ある取組】【学校紹介スペシャル】等は各高等学校からの原稿を掲載しています。

なお、県立高等学校についての情報及び全県一学区についての情報は以下のホームページを御覧ください。

県立学校「公立高校ホームページ」

⇒ <http://www.pref.miyagi.jp/kyouiku/school/koukou.htm>

全県一学区決定までの経緯等

⇒ <http://www.pref.miyagi.jp/kyou-kikaku/>

全県一学区に向けての取組

⇒ <http://www.pref.miyagi.jp/koukyou/ichigakku/ichigakku.htm>

■ もくじ ■

1：【事業紹介】

- (1)学校活性化プロポーザル事業報告（仙台南高等学校）
- (2)みやぎクラフトマン21……文部科学省指定事業がスタート

2：【高校の特色ある取組】

- (1)名取北高等学校
- (2)女川高等学校
- (3)水産高等学校
- (4)黒川高等学校

3：【学校紹介スペシャル】

仙台第三高等学校

4：【お知らせ】

- (1)平成20年度公立高等学校入試事務説明会日程一覧
- (2)第2回「中学生一日体験入学」参加者募集中（南郷高等学校）

5：【編集後記】

■ 1 事業紹介 ■

□ 学校活性化プロポーザル事業報告（仙台南高等学校）

高校教育課の事業として平成15年度から平成18年度まで実施された学校活性化プロポーザル事業（エクセレント・ハイスクール）では、指定校となった泉館山

高等学校、県ヶ浦高等学校（平成17年度に気仙沼高等学校と統合）、仙台南高等学校がそれぞれ大きな成果をあげました。

平成16年度から平成18年度まで実施した仙台南高等学校は、家庭学習時間1.4倍、大学進学率4.5ポイントアップ、国公立大学合格者数1.4倍等の成果をあげました。

基礎学力の充実、規律ある生活態度の育成、進路達成の支援という3つの基本精神を基にして取り組んだ成果とその間に確立した様々な手法は今後の仙台南高等学校のさらなる発展の土台となることでしょう。

くわしくは以下のページで御覧ください。

<http://www.pref.miyagi.jp/koukyou/HSnetwork/80-190913.pdf>

高校教育課通信「ハイスクール・ネットワーク」第80号（19.9.13発行）

（ページを開いてから、2ページ目を御覧ください。）

または、以下の仙台南高等学校の学校評価のページを御覧ください。

<http://www.sminam-h.myswan.ne.jp/page014.html>

□ みやぎクラフトマン21（平成19年度～21年度）がスタート！

ものづくり人材育成のための専門高校・地域産業連携事業（クラフトマン21）に文部科学省及び経済産業省が宮城県を指定しました。クラフトマンとは、熟練工、職人の意味ですが、この事業は経済産業省と文部科学省が連携して展開することとなった3年間（平成19年度～21年度）の事業で、工業高校と地域の産業界が連携して「ものづくり人材」の育成に取り組むものです。全国で23の地域が指定され、宮城県もその指定地域となりました。

実践校は県工業高等学校、石巻工業高等学校、気仙沼向洋高等学校、仙台工業高等学校の4校です。

ものづくりを志向し、実践的な技能と課題解決能力をあわせ持つ、統合力を持つ人材の養成に期待が集まっています。

事業の内容は、以下のページのイメージ図で御覧ください。

<http://www.pref.miyagi.jp/koukyou/HSnetwork/80-190913.pdf>

高校教育課通信「ハイスクール・ネットワーク」第80号（19.9.13発行）

■ 2 高校の特色ある取組 ■

宮城県の高等学校の特色ある取組についての情報を紹介するコーナーです。

□ サテラインゼミ（通信衛星授業）と新カリキュラムの導入（名取北高等学校）

平成19年度から進学希望者を対象として「サテラインゼミ（通信衛星授業）」を開講しています。DVD画像を通して、全国でも有名な講師の先生方の授業を受けることができます。通信衛星授業でも、本校教員が適宜解説・説明を加えますので、わからないところがあってもその場ですぐ解決することができます。名取北高では、やる気のある生徒の皆さんの能力を最大限に引き出し、進路の実現に向けて

支援しています。

また、平成20年度入学生から新しいカリキュラムを導入します。多様な選択科目が用意され、その中から、生徒ひとりひとりが、自らの興味・関心や進路希望に応じて、授業を選択し学習を進めていきます。球技を中心とする「スポーツⅡ」や「演奏法」「発達と保育」「フードデザイン」「服飾文化」など特色のある科目も設置しました。

授業の選択にあたっては、進路別モデルコースを参考にしながら、自分に適した学習プランを設計していきます。新カリキュラム及び進路別モデルコースは、本校ホームページ「北高で学ぶ」に掲載されています。ぜひ御覧になってください。

→ くわしくはこちら > <http://www.natorikita.myswan.ne.jp>

□ スポーツ・福祉類型……地域の支援で特色ある学校づくり（女川高等学校）

本校は、地域と連携した「特色ある学校づくり」に取り組んで3年目になります。

特に、県内でも例の無い「スポーツ・福祉類型」を、来年度平成20年度からの本格的実施に向けて今年度試行的に取り組んでおり、女川町や石巻市のスポーツ・福祉施設を活用しての授業を展開しています。スポーツ・福祉施設までの移動手段として、町内にある笹カマボコの会社「高政」が所有する社員送迎用バスを社長の御好意で、運転手付きで御協力をいただいております。

「福祉の時間」には、外部講師に女川町立病院の総看護師長高橋洋子さんや特別老人ホームの介護課長蜂谷宏さん、地元食材を用いての調理実習には安住妙子さん等の御協力をいただき、実践を踏まえた指導をいただいております。

「スポーツの時間」では、トレーニング機器の操作やパターゴルフ、テニスやスケート等、生涯スポーツの指導者に必要な幅広い体験を校外において2時間連続で楽しく学習しています。

このように、地域の支援を得ながら、特色ある教育活動ができる高校は県内にも例が少なく、御支援をいただいている皆様に感謝をしております。

→ くわしくはこちら > <http://onagaw-h.myswan.ne.jp>

□ 創立110余年の歴史ある高校（水産高等学校）

本校には「海洋総合科」・「情報科学科」の2つの学科があります。

海洋総合科は、1学年次には船舶・水産食品・栽培漁業・海洋工学など「水産・海洋」全般について基礎的なことを学習します。2学年次からは、自分の興味・関心から「航海」・「食品科学」・「栽培漁業」・「マリンテクノ」の4類型を選択し、より専門性の高い知識と技術を習得し、「水産・海洋」関連産業で活躍できる必要な能力と態度を身に付けることを目指します。

情報科学科は「工業系」の学科であり、電気・電子、情報通信技術及びコンピュータの基礎的なことを学んだ後、電話回線を用いた情報の伝達方法を中心に情報通信機器（携帯電話やパソコンなど）の仕組みなどを勉強します。また、これらに関する資格を取得して、情報社会に対応できる能力と態度を身に付けることを目指します。

→ くわしくはこちら > <http://miyagisuisan.myswan.ne.jp/>

□ エネルギー教育実践校としてエコを推進（黒川高等学校）

経済産業省（資源エネルギー庁）では、特色あるエネルギー教育に意欲的・継続的に取り組む小学校、中学校、高等学校等を公募し、「エネルギー教育実践校」として指定して、3年間にわたり様々な支援を行っています。これに本校土木科で応募した結果、高等学校部門では宮城県初の認定校となりました。

今年度の内容は、土木科を中心にリサイクル物質で作ったコンクリートブロックで歩道板を敷設します。また、学校食堂から出た廃油を使って石けんを作ったり、牛乳パックを使ってリサイクルハガキを作ったりします。作ったものは福祉施設に寄付する予定です。その他学校全体の取組としては、コピー用紙とわらばん紙を分別回収して、エコティッシュを作る予定です。

→〈くわしくはこちら〉

学校HP <http://www.kurokawa.myswan.ne.jp/index.html>

エコ通信 <http://www.kurokawa.myswan.ne.jp/eco/eco-01.pdf>

■ 3 学校紹介スペシャル ■

高等学校の特色ある取組を含めて学校の取組全体をくわしく紹介するスペシャルコーナーです。

□ 多面的な学習指導・進路指導と理数科独自の研修・研究（仙台第三高等学校）

仙台三高は1学年あたり普通科6クラス・理数科2クラスからなる高校で、大学進学を大きな目標として学習指導・進路指導を行っています。また、伝統的にクラブ活動も盛んで、自分を鍛えたい、課題をこなしながら自分を高めたいと考えている皆さんに適した高校だといっただいでしょう。

反面、高校生活が忙しいことも事実です。その場その場で全力を尽くす、言い換えれば、勉強においても部活動においても相当の負担を要求されますから、ただ何となく毎日を過ごそうとする人、自分だけの生活を最優先に考える人には不向きな学校です。やる気はあるけれどもどうやっていいか今一つ確信が持てず、強い働きかけが欲しい、と考えている人達にとって最適な学校かも知れません。ここでは、進路指導・学習指導の取組を紹介したいと思います。教育課程や進路先一覧、部活動の実績などの詳細は、学校ホームページを御覧ください。

→〈ホームページはこちら〉 <http://sensan.myswan.ne.jp>

学習指導と進路指導

入学時から大学出願に至るまで計画的な学習指導、進路指導を実践しています。学習面では、次のような取組を行っています。

- ①入学当初に国数英のオリエンテーション授業を行い、学習方法を指導する。
- ②宿題、小テスト、週末課題等で学習の定着を図る。
- ③模擬試験や課外講習等を充実させる、等。

また、生活指導と進路指導では、次のような取組を行っています。

- ①年に数回、面談期間を設けて学習と進路、生活面等を把握する。
- ②進路講話等の進路ガイダンスを充実させる。
- ③進路情報等を提供し、進路選択を適切なものとする。
- ④小論文指導を3年間実施する、等。

その他、生徒の進路希望を実現できるように、様々な取組を行っています。

特色ある取組1（進路講演会）

例年5月に、第2学年と第3学年の全員を対象として進路講演会を実施しています。

大学の先生方に、理系、文系、教育系等の大学紹介等に関する講演をお願いし、生徒は進路希望に応じて、2つの講演を選択して聴講します。平成19年度は、福島大学理工学群の高橋隆行教授、岩手大学農学部松原和衛准教授、東北大学工学部飯淵康一教授、山形大学人文学部渡邊洋一教授、東北大学経済学部守健二教授、宮城教育大学吉田剛准教授をお招きしました。

特色ある取組2（校外研修）

第1学年、第2学年のクラス単位で実施される校外研修を紹介しましょう。これは単なる遠足とは異なり、クラスごとに研修対象を考え、それについて調べ、まとめる力を養うことを目標とし、同時に親睦をかねて実施されるものです。

5月頃から準備を始め、どこに行き、何を研修するかをクラスで協議し、研修班を作ります。そして、研修先との交渉や旅行代理店との交渉等も、担任の指導の下で生徒が中心となって進めます。研修は10月に一日かけて行われ、11月上旬までにまとめて研修発表会で発表します。

平成18年度の研修先は、理化学研究所、花山少年自然の家、仙台市民センター、宮城県図書館、登米教育資料館などで、研修内容は、「テラヘルツ光について」「リサイクルについて」「世界に羽ばたく宮城人」等多岐にわたっています。

特色ある取組3（社会人による出前講義）

総合学習の一環として第1学年、第2学年を対象として2月に実施されている企画で、社会の諸分野で活躍されている方々をお招きし、お話を伺うものです。今年の2月に実施された際には、IT、アパレル、医師、警察、航空、国際協力機構、市民オンブズマン、大学教授、スポーツ、マスコミ、薬剤師など各方面から22名の講師にお出でいただきました。

受験情報だけの進学指導でなく、仕事の実際がどのようなものであるかを直接伺うことで、生徒各自の進路意識を高め、具体的で確固とした目標設定に役立っています。

なお、この企画を始めとして、同窓会から多大な協力をいただいていることも仙台三高の特色といえるでしょう。余談ながら、平成18年の体育大会では、同窓会の方々が生徒全員分の豚汁を用意してくださいました。

理数科独自の行事

①理数科研修会（第1学年）

8月上旬に、研究機関等を訪問し、視野を広げてきます。これまでの研修先は、宮城県水産研究センター、日本製紙石巻工場、角田ロケットセンターなどです。

②理数科講演会（第1・第2学年）

10月に行われる、大学等の研究者を招いての講演会です。自然科学への視野を広げる有意義な機会となります。平成18年度は東北大学の齋藤理一郎先生から「カーボンナノチューブの科学」についてのお話を伺いました。

③課題研究発表会（第3学年、第2学年）

理科の諸分野から興味関心のあるテーマを選び、第2学年からグループで研究を進め、第3学年の5月に発表します。教員の指導の下、熱心に研究が行われます。

今年度の研究テーマ（抜粋）

①水中シャボン玉の作成と膜の厚さの測定 ②燃料電池の研究 ③花火を作ろう ④ザリガニの心臓を用いた神経伝達物質の実験 ⑤後退翼における気流について ⑥ガリレイの斜面の実験 ⑦数値計算でケプラーの第一法則を確認する ⑧電磁推進船の研究

最後に、高校進学の際、将来は大学へ進学しようと考えている皆さんにお話ししておきます。本校だけでなく、相当数の高校では、2学年から理系・文系の類型別クラス編成を実施しています。第2学年でどのコースを選ぶかは、第1学年の6月に希望をとります。ですから、高校進学の段階で、将来の進路希望について、相当に考えておかないと間に合わなくなります。自分の将来について、まだまだ先のことと考えずに、真剣に、身近な問題としてとらえつつ、高校進学に臨んでくれることを期待します。

■ 4 お知らせ ■

◆平成20年度宮城県公立高等学校入試事務説明会開催日程一覧

平成20年度宮城県公立高等学校入学者選抜要項を用いた入試事務説明会を下記のとおり実施します。

平成19年10月22日（月）中部北地区（仙台市教育センター）
平成19年10月23日（火）中部南地区（仙台市教育センター）
平成19年10月29日（月）北部地区（大崎合同庁舎）
平成19年10月30日（火）東部地区（石巻合同庁舎）
平成19年10月31日（水）南部地区（村田物産交流センター）

◆第2回「中学生一日体験入学」参加者募集中！！（南郷高等学校）

南郷高等学校は平成19年10月27日（土）に第2回中学生体験入学を実施いたします。

< 講座内容 >

①文ちん製作 ②花の寄せ植え ③百人一首カルタ
④勾玉づくり ⑤スイートポテト作り

また、南郷高等学校で生産しているお米（3種類）の試食もあります。中学生の皆さんは3つの味の違いがわかるでしょうか。保護者の方や先生方もぜひ参加してみてください。

くわしくは本校ホームページをクリックしてみてください。お待ちしております。
→〈ホームページはこちら〉<http://www.nango-h.myswan.ne.jp>

■ 5 編集後記 ■

記録的な猛暑が過ぎ、学習にも集中できる秋がやって来ました。

「高校教育課 情報メール」第2号では、県内の高等学校の特色ある取組はもちろん「高校紹介スペシャル」として、高等学校の特色ある取組を含めて学校の取組全体をくわしく紹介するコーナーも設けました。

今後も「高校教育課 情報メール」をよろしくお願いします！

なお、右端をそろえて表示・印刷時したい場合、お使いのメールソフトのメニューバーの表示を選択し、文字サイズを等幅に設定してください。

高校教育課 情報メール

○発行：宮城県教育庁高校教育課 〒980-8423 宮城県仙台市青葉区本町三丁目 8-1
TEL：022-211-3624 / FAX：022-211-3696
